

第74回 兵庫県高等学校新人柔道大会		第67回 近畿高等学校柔道新人大会 県予選
第51回 兵庫県高等学校選抜柔道大会	兼	第48回 全国高等学校柔道選手権 県予選

競技規則 1 国際柔道連盟試合審判規定ならびに（公財）全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。

2 「優勢勝ち」の判定基準

(1) 団体試合は、「有効」または「僅差（指導差 2）」以上とする。チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は競技方法で定める。

(2) 個人試合は、「有効」または「僅差（指導差 2）」以上とする。技による評価が同等の場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦は、「有効」以上があった時点、あるいは指導の数に差がついた時点で終了とする。

3 試合時間は、団体、個人試合とも 3 分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。

競技方法 1 男子団体試合

- (1) 1校1チームとし、監督1名、選手7名の計8名とする。(全日制と定時制を混えない)
 - (2) 試合当日、選手が3名に満たない学校は失格とする。(3名で申込出場可)
 - (3) 試合はトーナメント戦で実施する。1回戦から決勝戦まで、点取り試合とする。
 - (4) 試合は各チーム5名で行う。試合ごとにオーダーの変更を認める。ただし、5名に満たない場合は、後ろ詰めとする。(先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける。)
 - (5) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - 1) 判定基準：選手対選手、それぞれの試合の勝敗は、「有効」「僅差（指導差2）」以上とする。
 - 2) 「技の内容」と「指導」の重み
※【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞有効＞僅差（指導差2）】の順とする。
※試合終了後、同点同内容の場合、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦における優勢勝ちの判定基準は、「有効」または「僅差（指導差2）」以上とする。ただし勝敗が決しない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を時間無制限で行う。延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。代表戦は、大将戦終了後、3分後に開始する。
※代表戦で勝敗が決しない場合の具体的な例は、次のとおり。
 - ①代表戦が終了した時点で技による得点差がなく、指導差もない(0-0)あるいは指導差1(2-1あるいは1-0)の場合は延長戦を行う。
 - ②延長戦では、技による得点があった段階で試合終了となる。
 - ③延長戦で片方に指導が与えられて指導の数に差がなくなった場合は、そのまま試合続行となる。
 - ④延長戦で指導が与えられて指導の数に差がついた場合は、その時点で試合終了となる。
 - ⑤延長戦で両者に同時に指導が与えられた場合、指導の数の多い方が負けとなる。
- ※代表戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、延長戦（ゴールデンスコア）において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度、延長戦（ゴールデンスコア）を行い、必ず勝敗を決する。
- 学校名、選手名の書かれた短冊を所定の封筒に入れ、大会初日の受付時に提出すること。
- 1回戦のオーダー用紙（選手配列が書かれた用紙）は開始式までに本部に提出すること。
- 2回戦からは対戦校決定後5分以内にオーダーを本部に提出すること。
- (6) 選手の変更は、登録選手に事故のある場合に限り、補欠の補充を2名まで認める。但し開会式開始までとし、所定の「選手変更届」を本部まで提出すること。
 - (7) 近畿大会への出場校は10校とする。本大会のベスト8は出場権を獲得し、残り2校についてはベスト8入りで敗退した8校によるトーナメント戦で2校を選出する。

2 男子個人試合

- (1) 試合は体重別試合とし、60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級の7区分とする。
- (2) 出場者は各地区予選を経て、推薦された者とする。
- (3) 近畿大会への出場者は各階級5名とする。本大会のベスト4は出場権を獲得し、残り1名についてはベスト4入りで敗退した4名によるトーナメント戦で1名を選出する。
- (4) 欠場する場合は、男子団体試合終了までに、必ず地区代表顧問に申し出ること。

3 女子団体試合

- (1) 1校1チームとし、監督1名、選手3名、補欠2名の計6名とする。(全日制と定時制を混えない)
- (2) 試合当日、選手が2名に満たない学校は失格とする。(2名で申込出場可)
- (3) チーム編成については下記の通りとする。【先鋒:52kg以下、中堅:63kg以下、大将:無差別】
- (4) 試合はトーナメント戦で実施し、各チーム3名での点取り試合とする。
- (5) 2名同士の対戦で、かつ不戦が2か所となる場合は、その当該試合のみ、選手配列を後に詰めて試合を実施する。
- (6) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - 1) 判定基準: 選手対選手、それぞれの試合の勝敗は、「有効」「僅差(指導差2)」以上とする。
 - 2) 「技の内容」と「指導」の重み
 - ※1【一本勝ち=反則勝ち>技あり>有効>僅差(指導差2)】の順とする。
 - ※2 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ※3 同点同内容の場合は、代表戦を実施する。代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選び、延長戦(ゴールデンスコア)の試合を時間無制限で行う。代表戦における優勢勝ちの判定基準は、「有効」または「指導差1」以上とする。なお、引き分け対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手を全ての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦は、大将戦終了後、3分後に開始する。
 - ※代表戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度延長戦(ゴールデンスコア)を行い、必ず勝敗を決する。
 - 体重の軽い者は重い階級に出場できる。(下記の注意4を参照すること)
 - 補欠は該当する体重区分(階級)に出場でき、補充する際の順番は問わない。
- (6) 選手の変更は登録選手に事故のある場合に限り、補欠の補充を1名まで認める。但し、開会式開始までとし、所定の選手変更届を本部まで提出すること。
- (7) 近畿大会への出場校は10校とする。本大会のベスト8は出場権を獲得し、残り2校についてはベスト8入りで敗退した8校によるトーナメント戦で2校を選出する。(近畿大会の運営上、出場校数が増える可能性もあり、この限りではない。)

4 女子個人試合

- (1) 試合は体重別試合とし、48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級の7区分とする。
- (2) 出場者は各地区より推薦された者とする。
- (3) 近畿大会への出場者は各階級5名とする。本大会のベスト4は出場権を獲得し、残り1名についてはベスト4入りで敗退した4名によるトーナメント戦で1名を選出する。(近畿大会の運営上、出場人数が増える可能性もあり、この限りではない。)

参 加 料	団 体	男 子	12,000 円	プログラム代	2,500 円	合 計	14,500 円
		女 子	10,000 円	プログラム代	1,500 円	合 計	11,500 円
	個 人	1 名	3,000 円				

出 場 校	男女とも各地区大会予選を経て、推薦された学校とする。
申し込み方法	団体試合…各校の顧問は所定の申込用紙に入力し、申込書をプリントアウトする。 ① プリントアウトした申込書は、学校長印を押印の上、各校でPDFにして、入力したExcelシートと共に電子データで、滝川高校：田口 kt.hyogojudo@gmail.com までmail 送付する。 (10月3日(金)17時締切り)(男子は3名、女子は2名で申込可) ② 原本は、各校で保管する。 ③ 各校顧問は、団体出場の有無を10月3日(金)までに各地区代表顧問に連絡すること。 <u>《注意》期日に遅れた学校は一切受け付けない。</u> 個人試合…各地区代表顧問は、個人出場者申込と役員名簿をまとめ、電子データをmailにて滝川高校：田口と白陵高校：松島まで申し込みをする。(10月3日(金)17時締切り)
抽 選	各地区代表顧問立ち会いのもと、10月10日(金)午前9時より、県立神戸高等学校会議室において実施する。
注 意	1. 試合当日に監督、または引率教員の付添いのないチームの出場は認めない。 2. 一般競技役員は午前8時30分に集合のこと。尚、計量委員は午前8時に集合とする。 3. 各日、計量時間の30分前を非公式計量時間とする。 4. 女子団体試合において、先鋒、中堅に出場した選手は、それを超える階級で個人試合には出場できない。 5. 大会出場申込後の無断欠場は、次の大会の出場を認めない。 6. 大会プログラム・マスコミ等の掲載、個人情報保護については各選手の同意を得ること。 詳しくは、各地区代表顧問まで。
備 考	1. 本大会、男子団体優勝校・女子団体優勝校は全国高等学校柔道選手権大会の出場権を得る。 2. 本大会、男子個人 90 kg級、100 kg級の優勝者、女子個人 70 kg級、78 kg級の優勝者は、令和8年3月29日(日)に開催される「2025年度全日本柔道強化選手選考会」への出場権を得る。 3. 本大会男女個人戦の上位者は、令和7年12月7日(日)に開催される全国高等学校柔道選手権(個人試合)兵庫県予選に出場する選手選考を兼ね、各区分の優勝者は第48回全国高等学校柔道選手権大会への出場権を得る。(詳細は第48回全国高等学校柔道選手権・兵庫県予選実施要項を参照)なお、各区分の出場枠は次のとおりである。 男子は60kg級・66kg級・73kg級・81kg級(各8名)・無差別(90kg4名、100kg4名、100kg超4名)総数44名の5区分とする。尚、各区分に選出された選手は、無差別への区分変更を認める。不足が生じた区分の選手補充は行わない。 女子は48kg級・52kg級・57kg級・63kg級(各8名)・無差別(70kg4名、78kg4名、78kg超4名)総数44名の5区分とする。尚、各区分に選出された選手は、無差別への区分変更を認める。不足が生じた区分の選手補充は行わない。 4. 本大会に関する問い合わせは、各地区代表顧問を通じて行うこと。 5. 兵庫柔道グランプリ2026の出場者は、男子60kg級1名・66kg級1名・73kg級2名・81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級は各4名・地区推薦4名の計24名、女子48kg級1名・52kg級1名・57kg級2名・63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級は各4名とする。 6. 次年度開催の兵庫県ジュニア体重別大会への出場権は、原則として各階級ベスト8入賞者にその権利が与えられる。